

各クラブ事業紹介シリーズ No.6

栗山ロータリークラブ「安全で安心して暮らせる地域づくりを目指して」

当クラブはこの3年間、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、満足な活動ができませんでした。社会奉仕活動としての新たな取組みではないものの、「安全・安心な地域づくり」を目指して、長年に亘り継続している事例について下記によりご紹介させていただきます。

1. 平成18年から継続している取組みとして、毎週火曜日の例会後「栗山小学校児童下校見守り活動」を行っています。

昨今の社会情勢は地域問わず各種犯罪や車両事故が横行している現状であり、とりわけ子どもを取り巻く環境は極めて危険性が高いと考えております。私たちは児童・生徒を犯罪から守るため、栗山ロータリークラブのオリジナルジャンパーを着用し小学校の校門前において登下校指導を行っており、全会員にて現在も継続実施中です。



2. 平成20年から「防犯パトロール隊による青色回転灯パトロール」を継続しています。

これは、会員の車両に「青色回転灯」を搭載し、地域をパトロールする事により安全で安心して暮らせる地域づくりを願った活動を続けているものです。



3. その他、交通安全の取組みには、町交通安全協会と連携して「旗の波（イエロー）作戦」や「飲酒運転撲滅パトロール」の啓発活動にも協力しています。また、クラブ創立50周年時の記念事業として「小中学校へ防犯カメラを設置」し、子どもたちの安全を図ってまいりました。



以上、栗山ロータリークラブの社会奉仕活動の一端をご紹介させていただきましたが、53年の歴史の中で栄枯盛衰は世の習いであります。この間、時代に合った活動も役割を終えたり、新しい活動に衣替えしたりして現在に至っております。今後も当クラブは社会奉仕の一環として地域が「安全で安心して暮らせる地域づくり」に根差した活動を続けて参ります。